

## はしがき

第 161 回の大会予稿集をお届けします。第 161 回大会は 11 月 21 日(土)、22 日(日)の二日間、東北学院大学で行われる予定でしたが、今回も前回に続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、対面での大会の開催を断念せざるを得ません。今回は、会員のアンケートを取り、前回果たせなかったリアルタイムでの質疑を含むオンラインでの開催を行うことに決定しました。また、東北学院大学の実行委員会の皆さまのご努力により招待講演（指定討論者との討議含む）も、行われることになりました。この大会実行のために準備を重ね、伊藤さとみ氏をはじめとする大会運営委員会、大会実行委員会のメンバーの皆様に深くお礼を申し上げます。

今回の 161 回大会には 79 件の応募があり、うち 56 件が採択されました（内訳：口頭発表 50 件、ポスター 4 件、ワークショップ 2 件）。

招待講演には、Noam Chomsky 氏(アリゾナ大学・MIT)を迎え、オンラインでの講演のあと、指定討論者による議論を行っていただきます。

今大会は事前の参加登録と参加費の支払いが必要ですので登録をよろしくお願ひします。

言語学会の YouTube チャンネル、twitter、Facebook は現在試験運用中です。いずれ本格運用しますので、多くの会員の方の御登録・御利用をお願いいたします。

次回 162 回大会は、中止となった 160 回大会の準備をしてくださった早稲田大学にて新しい執行部の下で行われる予定です。現時点で対面での通常大会が行えるかどうかはわかりませんが、事態が改善し、通常 of 言語学会が行えることを祈っております。

今回の大会が現執行部の最後の大会になります。現執行部任期中にはこれまで遅れていた倫理規定の整備およびその運用指針の制定等を行い、このようなことが起きないように体制を整えてきました。また、今年度から科学研究費の補助を受け、学会の一層の国際化に向けた活動、若手研究者の研究力強化のための援助を行っています。

日本言語学会はこれまでどの言語に関する研究、どのような方法論も発表可能である学会として活動してきました。この自由な雰囲気が続くように努力していきたいと思ひます。

言語学会の最後の 2 大会、皆様と直接お会いできず、残念ですが、言語学会のますますの発展のためこれからも会員の皆様のご協力をお願いいたします。

2020年10月

日本言語学会会長 田窪 行則